



高西小だより

H26, 1, 31(金) 校長:古屋 NO15

学校教育目標

夢を切り拓く

心豊かで

たくましい子ども

今、どの局のテレビをつけても「STAP 細胞」を作ること成功した研究チームのリーダー小保方晴子さんが映し出されています。まだまだ、この研究成果の重要性を十分理解をしていませんが、私が注目したのは、小保方さんの「夜寝る前に、『あした失敗したら、もうこの実験をやめようかな』、『今日1日だけは頑張ろうかな』と思っていたら、5年たってしまったという感じ」という言葉です。日々の苦悩と葛藤、挫折しそうな心が読み取れる言葉です。そして、何よりもすごと思うのは、その気持ちに負けないで努力（研究）を続けてきたということです。子どもたちにもそうであって欲しいと思います。

盛りだくさんの自由参観日となりました！ (1月22日)

この日は、インターナショナルディの講師として3人の外国の方、金銭教育講演会の講師の先生と県金融広報委員会の方、田んぼの学校の山本さん(5年)、獣医の岡本先生(4年)、家庭教育支援事業として2名の助産師さん(2年)、学校評議員さん、また、5年生の親子研修を同時開催しましたが、多くの方々のご参加を頂く中、充実した楽しい自由参観日を行うことができました。本当にありがとうございました。

「ゲームで学ぶ！おこづかいを楽しむための3つの習慣」(金銭教育講演会)

本校は、山梨県金融広報委員会より、平成25・26年度の2年間、金銭教育の研究指定校になっています。今年度は、市川三郷町の上野小学校、県立塩山高校が指定となっており、先日、その研究授業が公開されました。



1年目の今年度は、高根西小の金銭教育のねらいを、「人とのつながり」「ものやお金とのつながり」「働くこととのつながり」の大切さを学ぶことで、豊かな社会性を育て、自分で判断し、よりよく行動できる力の育成を目指すと共に、感謝と自立の心を育て、人間形成の土台作りへとつなげていくこととして研究を進めています。来年度は、その研究成果を保護者の皆様、地域の方々をはじめ、広く県下に公開発表する予定です。

さて、先日の講演会では、文部科学省消費者教育アドバイザーであり生活経済ジャーナリストの安藤悦子(あんびるえつこ)さんをお迎えし、「カレーづくり」ゲームを通して、「3つの習慣」や「何かを選ぶ時には、何かを諦めること」「限られたものを上手に使うこと」などを学びました。

「3つの習慣」・・・？ 保護者の方のアンケートに見事に表現されていました。

普段使っているお金のこと、改めて考える機会になりました。物を買う時、立ち止まってもう一度考える、自分や社会の幸せになるか考える、買った後もう一度振り返って考えることは、私も大切なことだと思っていたところです。これからも子どもと一緒に実践して、もっと幸せになりたいです。

体験を通してお金の大切さを学べて、とても良かったと思います。自分一人ではなく、地球全体の一員としてのお金の使い方に気付くことができ、私自身としても、とても良かったです。

「インターナショナルディ」も同時開催！

今年も山梨県国際交流協会から3人の方に来て頂きました。韓国の金英経さん、フランスのアミナ・ダンテさん、ブラジルのダニエラさんです。低・中・高の3グループに分かれ、各国の紹介、ゲームや遊びなどして楽しく交流しました。3人とも日本語がとても上手で、ユーモアたっぷりのお話でした。



韓国の民族衣装に歓声！



ブラジルの明るい雰囲気がいっぱい！



ダンテさんはALTのサラ先生とお友だち

雲一つ無い絶好のコンディションの中で**スキー教室**を実施！

今年もボランティアとして6人の保護者の方に参加して頂きました。

1月29日、今年も4・5・6年生が清里のサンメドウズスキー場でスキー教室を行いました。今年は、美し森にある道路脇の温度計が4度を示し、とても暖かい絶好のコンディションの中、14名のインストラクターの指導のもとでスキーを楽しみました。リフト乗り場に滑って来る子どもたちの姿を午前と午後を見比べると、その上達ぶりを一目瞭然に見ることができました。そして、「これがもう最後のリフトだね。」というインストラクターの声に、「え～、もっと乗りたいよ。」という言葉が返ってきていました。子どもたちの満足度が分かる言葉でした。

昼食は、恒例の美味しいカレーでしたが、今年もおかわりの長い行列ができていました。

今年も、スキー教室にボランティアとして参加して頂ける方を募集しましたが、6名の保護者の方々にご協力いただきました。各班の補助指導にあたって頂きましたが、お陰様で事故もなく楽しい思い出づくりができました。本当にありがとうございました。



開校式での決意発表



ストック無しの滑りも上手です！



スキー教室のカレーはいつ食ってもうまい！

笑顔いっぱいの「**むかしのあそびを楽しむ会**」でした！（28日）

今年も、1年生は、生活科の学習で、「むかしのあそびを楽しむ会」を行いました。この活動のねらいは、「昔から伝わる遊びを年長者から教わったり、手作りおもちゃを自分で工夫したりしながら遊ぶことができるようにする」ことです。当日は、たくさんの保護者やご家族の方々に参加していただき、グループに分かれて、けん玉、はねつき、あやとり、竹馬、こまなどをして楽しみました。1年生にとって、笑顔いっぱいの楽しい思い出ができました。



顔と顔を寄せ合って、言葉を交わしながら一緒に楽しむ姿に、心がポカポカする気持ちになりました。

命の重さを実感！（**家庭教育支援事業**）

22日の自由参観日に、2年生が「いのちの学習」を親子で行いました。今年は、助産師会いのちの学習グループのお二人の助産師さんにご指導頂きました。子どもたちは、かけがえのないもののお話、心臓の音、赤ちゃん人形のだっこ等貴重な体験を通して、命の重さ、尊さを知ることができました。



大事そうにだっこする姿がかわいいね。

いのちの学しゅう
ふかさわ ともか

いのちの学しゅうでは、わたしが、おなかの中に来た時は、おり紙の小さい丸の大きさで、あんなに小さかったのでおどろきました。

赤ちゃんの心ぞうの音やうごきもわかって、すごいと思いました。

わたしたちが、こんなふうに生まれてきたことなどをいろいろ知りました。

あと、十か月の赤ちゃんが、すごくおもたかったです。

いのちを大切にしていきたいです。